第44回 中標津町じどうかん祭り
「テーマ 春夏秋冬　4つのせかい」

今年で44回目を迎えるじどうかん祭りは、総合文化会館を会場に大人実行委員や保護者、地域の方々の協力を得ながらステージ発表と遊びのひろばを開催することができました。

中標津町のじどうかん祭りは、地域の方々で結成される大人実行委員会と各児童館に通う児童で結成される通称「おまつり隊」が協力し合い作り上げています。子どもたち自身が「やってみたいこと」を考え、意見を出し合い、選択・決定し、活動を作りあげる側として関わる「子ども参画」の機会を保障する経験は、「役割を担い活動する中で責任感や達成感を育むとともに、協調性を身に付けることにつながります。また、年齢の異なる子ども同士が関わる中で得られる「思いやりや支え合う気持ちを育む」などの児童の健全な育成に繋がると考えています。





迎えたじどうかん祭り初日は､披露することを楽しみにしていた一輪車や竹馬､ダンスなどのステージ発表からスタート!!

「ドキドキする」「緊張してきた」と少しの不安と、ワクワクする心情が入り混じった気持ちであろう子どもたちでしたが、発表が始まったステージ上では自分たちの演技を堂々と披露し、今までの練習の成果を十分に発揮することができました。

４つの児童館では出演する児童の数も演出の仕方も違い、見応え十分だったのではないでしょうか。間違えても自信をもって演技する姿からは、一生懸命練習し、積み重ねた努力が垣間見えました。時にはやりたい遊びを我慢して練習に励んだこともあったと思いますが、やりきった子どもたちの姿から、楽しかったという満足感が感じられただけでなく、会場から曲に合わせた手拍子もあり、歌詞を口ずさみながら踊る参加児童も見られるなど、会場と一体となって楽しめたステージ発表となりました。








２日目の遊びのひろばは、天候にも恵まれ、戸外ではおやつコーナーやスカットボール等のスポーツひろばが行われ、室内では４つの季節を表現した各児童館のコーナーが展開された他、名物のお化け屋敷や全体遊びの景品交換所では、中高生おまつり隊（各校生徒会や中標津中美術部、ボランティア）が頑張って!?張り切って!?準備から当日までの活動に参加してくれました。

小学生の皆は、幼児さんには目線を低くしてわかりやすく伝える優しさを感じ、同年代の児童にも丁寧に説明するなど、子どもが子どもをおもてなしする姿に、またひとつ中標津町のじどうかん祭りの良さを感じました。

長い準備期間の間、「先生と児童」「友達同士」「地域の方との繋がり」等、様々な人と協力して準備を進め、最後までしっかりとやり遂げたことで湧き上がる充実感や満足感を胸に、今後も逞しく成長してほしいと思います。

実行委員や保護者の方、中高生等、じどうかん祭りにご協力いただいた方々、本当にありがとうございました。



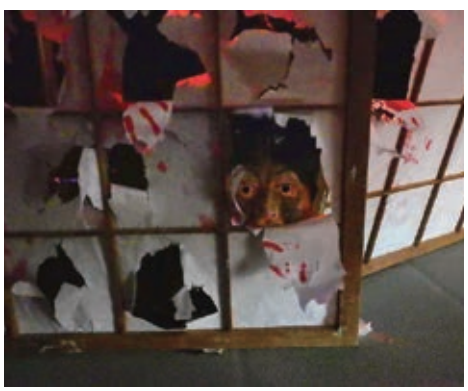











問い合わせは、児童会館 管理係（直通 ☎74-0895）まで。